

会議録

| | | |
|-------------|--|--|
| 会 議 名 | 令和元年度第 1 回スポーツ推進審議会 | |
| 日 時 | 令和元年 12 月 19 日 (木) 午後 7 時 ~ 午後 8 時 35 分 | |
| 場 所 | 富士森体育館 第 2・3 会議室 | |
| 出席者氏名 | 委 員 | 長田正美、澤本則男、塩澤迪夫、鈴木紀幸、平岡孝子、村松直和、山崎勲介、佐藤仁、三浦浩文、齋藤道、園山直樹、梅澤秋久、久保田晃、林廣子 |
| | 事 務 局 | 小山等生涯学習スポーツ部長 【スポーツ振興課】 清水秀樹課長、青木英之課長補佐、高橋吾朗課長補佐、野村泰史主査、橋本宏子主任 【スポーツ施設管理課】 佐藤晴久課長、佐取久満課長補佐、福島絵美主査、石森崇司主査 |
| | 欠席者氏名 | 作野誠一委員 |
| 議 題 | 会長及び副会長の選出 | |
| 報 告 | (1) スポーツ推進計画の進捗状況について (2) 富士森陸上競技場のネーミングライツについて | |
| 公開・非公開の別 | 公開 | |
| 傍 聴 人 の 数 | なし | |
| 配 付 資 料 名 | 資料 1-1 : 平成 30 年度 (2018 年度) スポーツ推進計画進捗状況 資料 1-2 : 八王子市スポーツ推進計画体系図 (対比表) 資料 2 : 富士森公園陸上競技場の愛称決定について | |
| 会 議 の 内 容 | 次ページ以降のとおり。 | |
| 会 議 録 署 名 人 | 令和 2 年 3 月 11 日 署名 | |

【議事内容】

開会

- 事務局
- ・審議に先立ち、10月23日付けで八王子市立小学校PTA連合会の推薦を受け、村松直和氏が教育委員会より委嘱を受けたためご紹介する。
 - ・小山部長から村松氏に委嘱状を交付する。

(小山部長から委嘱状を交付)

- 事務局
- ・本審議会について説明する。
 - ・スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法第31条の規定に基づく附属機関であり、平成19年7月1日から設置している。
 - ・委員の任期は「八王子市スポーツ推進審議会条例第3条第2項の規定により3年となっており、今期は令和4年6月30日まで。
 - ・審議会の役割は、審議会条例により、スポーツ推進計画や、スポーツの施設及び設備、スポーツ指導者の養成及び資質の向上並びにスポーツ団体の育成に関する事などについて、教育委員会の諮問に応じ、調査、審議し、建議することが所掌事項となっている。
 - ・改めて、令和元年度第1回八王子市スポーツ推進審議会を開会する。
 - ・出席委員数は、14名で定足数(過半数)に達しているため、会議は成立する。
 - ・今回初めての審議会となるため、委員の皆様から自己紹介をお願いします。

(各委員からの自己紹介)

- 事務局
- ・引き続き事務局の自己紹介を。

(事務局の自己紹介)

議題

- 事務局
- ・本審議会の正副会長の選出を行う。
 - ・選出の方法は、「八王子市スポーツ推進審議会条例」第4条第1項の規定に基づき、委員の皆さんの互選により行う。
 - ・会長の立候補者または推薦はあるか。

- 鈴木委員
- ・事務局に一任する。

- 事務局
- ・事務局一任でよいか。

(委員拍手)

- 事務局
- ・事務局としては、会長を梅澤委員にお願いしたいと考えている。事務局案について、異議はあるか。

(委員「異議なし」の声)

- 事務局
- ・異議ないものとして、会長を梅澤委員に決定する。梅澤委員挨拶を。

(梅澤委員挨拶)

- 事務局
- ・ここからの議事進行を梅澤会長に引き継ぐ。

- 梅澤会長
- ・副会長2名を選出する。立候補者または推薦はあるか。

- 鈴木委員
- ・事務局に一任する。

梅澤会長 ・事務局一任でよいか。

(委員拍手)

事務局 ・事務局としては、澤本委員と塩澤委員にお願いしたいと考えている。

梅澤会長 ・事務局案について、異議はあるか。

(委員「異議なし」の声)

梅澤会長 ・異議ないものとして、副会長を澤本委員と塩澤委員に決定する。お二人ご挨拶を。

(両副会長挨拶)

梅澤会長 ・では、これより報告事項に入る。事務局から説明を。

報告事項

1. スポーツ推進計画の進捗状況について

- 事務局
- ・昨年度、委員の皆様にご協力いただき改定作業を進め、今年7月に改定版を発行した。
 - ・資料1-1の進捗状況については、改定前の計画内容が終了する今年6月に、担当となる各課に、確認をとったものであり、昨年度の内容がメインとなるが、今年度の状況についても現状分かる範囲で報告する。
 - ・資料1-2は、計画の改定前と改定後の対比表となっている。
 - ・計画の数値目標及び基本施策ごとに説明する。

【計画の数値目標】

- ・目標の1つである週1回以上の18歳以上のスポーツ実施率については、平成30年で63.4%となっている。今年の最新数値としては62.9%となっており、昨年やや下がっている状況。
- ・来年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を好機ととらえ、引き続き、市民に対してスポーツをする習慣を促進する取組みを実施していく。
- ・2つ目の数値目標である総合型地域スポーツクラブの数については、現在19団体となっている。
- ・総合型地域スポーツクラブは、地域住民による自主的・主体的そして自主財源により運営されるものであるため、行政の働きかけだけで設立されるものではないという難しい状況である。

【基本施策1 ライフステージ等に応じたスポーツの推進】

- ・30年度の具体的な取り組み状況は、スポーツに親しむきっかけとして、また競技力の向上及び健康増進を図るため、全関東八王子夢街道駅伝

競走大会をはじめとする各種大会を実施したほか、健康体操教室及びレクリエーション・スポーツ教室を開催した。

- ・ 障害者スポーツの普及啓発のため、障害者スポーツの一つである「ボッチャ」の体験会や車椅子バスケットの体験会などを実施した。
- ・ 改定後は、共生社会の実現に向けたスポーツの推進を新規項目としており、障害者スポーツの推進について重点項目とした。
- ・ 令和元年度の新たな取り組みとしては、ジュニア育成事業として、12月1日に、元プロ野球選手を講師とする野球教室を開催したほか、親子ふれあい広場での親子ストレッチを実施した。
- ・ 障害者スポーツ普及のためスポーツ推進委員を指導者として地域に派遣したことに加え、「ボッチャ」の器具の貸出しも始めた。
- ・ 今後の課題・方向性としては、市民一人ひとりのレベルや志向、環境に合った事業を行っていくこと。また障害のある人もない人とのスポーツを通じた交流機会の創出に努めていきたいと考えている。

梅澤会長

- ・ 数値目標及び基本施策1について、質問等あるか。
- ・ 新たに加わった施策の方向性 1-2「共生社会の実現に向けた…」について、特別支援学校での障害者スポーツの取り組みを三浦委員ご紹介を。

三浦委員

- ・ 長年取り組んでいるのはハンドサッカーという子どもの障害特性にあわせてルールを変える競技。
- ・ 今取り組んでいることとしては、ダンスを取り入れた身体運動。
- ・ 障害者にとってスポーツがより身近になるよう、取り組みを行っている。

梅澤会長

- ・ 市内の障害者スポーツ行事に特別支援学校の生徒が参加することもあるのか。

三浦委員

- ・ 保護者が送迎をしなければならないため、積極的に自分たちで出かけて地域のイベントに参加するのは難しい。
- ・ 学校としては、地域の取り組みやスポーツ行事の案内をしながら、子どもたちに参加を呼び掛けているという状況。

梅澤会長

- ・ 成人のスポーツ実施率は、障害者に限定すると半数以下に減ってしまう状況。
- ・ 障害のある方が一人でスポーツ教室等に参加するのは難しく、リスクが高いと考えられる。
- ・ 最近、健常者が障害者スポーツを実施するという「リバーシインテグレーション」という言葉がある。
- ・ これは健常者も障害者も同じ条件で障害者スポーツをするというもの

で、最近広がってきている。

- ・ 健常者と障害者が一緒にできるスポーツを推進していくことが、施策 1-2 の推進につながる。

【基本施策 2 スポーツをする場の整備・確保】

事務局

- ・ 30 年度の具体的な取り組み状況は、富士森公園陸上競技場、梶田公園 テニスコートについて改修工事を実施した。
- ・ 富士森公園陸上競技場は来年 3 月のリニューアルオープンに向けて、現在工事を進行中。
- ・ 大学スポーツ施設の活用については、市民水泳大会で法政大学と連携している。
- ・ 改定後は、スポーツ施設の管理・改修等をスポーツ個別施設管理計画に基づいたものにするとともに、都立特別支援学校との連携を新規に盛り込んだ。
- ・ 令和元年度の新たな取り組みとしては、3 月の富士森公園陸上競技場のリニューアルオープンが一番大きい。
- ・ 外部資源の活用として、大学や企業が所有する施設を都民が利用できる「T O K Y O スポーツ施設サポーターズ事業」や都立特別支援学校の「活用促進モデル事業」の P R をいっていく。
- ・ 今後の課題・方向性としては、スポーツ施設は個別施設管理計画に基づく管理改修を進めるとともに、学校体育施設開放については利用方法や利用基準を見直し、市としての地域への学校施設開放のルール作りを進めていく。

梅澤会長

澤本副会長

事務局

- ・ 基本施策 2 について、意見・質問等あるか。
- ・ 大塚公園のプールは、現状こういった方向で話が進んでいるのか。
- ・ 大塚公園のプールについては、ニュータウン全体のまちづくりの一つとして検討する方向で動いている。
- ・ 市の都市計画部でニュータウンの新たなまちづくり方針があり、それに基づいて大塚公園を含む鹿島・松が谷地域のまちづくりミーティングを 4 回行った。
- ・ プールについても地域住民から意見をいただき、既存のプールのまま続けていくことは財政面でも厳しい。屋内プールにして通年使えるようにするとか、屋外のまま使うにしても屋根を付けるなど、新たなプールに作り替えることが必要という話が出た。
- ・ 今後地域住民の意見を元に、その在り方について検討していく。
- ・ 陵南プールはそういった方向性がない中で、検討を進められていない。

- 梅澤会長
- ・市の規模からみたプールの数や維持、施設を造るうえでかかる費用等を勘案する必要があると思う。
 - ・大塚公園は八王子市のかなり端に位置するため、近隣市の利用者が多いという話が以前出た。
 - ・市の税金を投入して、どれだけ市民に還元できるか考えることも重要。

【基本施策3 スポーツ情報の充実】

- 事務局
- ・30年度の具体的な取り組み状況は、市の広報やホームページに加え、フェイスブックでイベント並びにその結果情報を発信したほか、各種スポーツイベントでの参加者アンケート、市政世論調査、市政モニター、総合型地域スポーツクラブへの実態調査を実施した。
 - ・改定後の計画では、平成26年度にフェイスブックページ「八王子市スポーツイベント案内」を開設したことと、スポーツ施設及び文化施設の予約を一括して行うことができるHPサイト「八王子市施設予約システム」の運用を開始したことにより、それぞれを達成済みとした。
 - ・令和元年度の新たな取り組みとしては、夢街道駅伝の大会情報をより収集しやすくするため、公式のホームページを作成した。
 - ・引き続き、スポーツ情報を効果的に発信できるよう努めていく。

- 梅澤会長
- ・基本施策3について、意見・質問等あるか。
 - ・情報社会であるため、情報発信は非常に重要な施策である。
 - ・市のスポーツイベントのフェイスブックページについて、登録者数は何人か。

事務局

- ・547名となっている。

- 梅澤会長
- ・50万人都市でその人数は少ない。フェイスブックを知ってもらう手立てを考える必要がある。

- 事務局
- ・施策3が一番難しい部分だと感じている。今後周知方法についても検討していきたい。

【基本施策4 スポーツを活用した地域づくりと八王子の魅力発信】

- 事務局
- ・30年度の具体的な取り組み状況は、総合型地域スポーツクラブの情報交換会を実施した。
 - ・都民大会をはじめとする各種大会へスポーツ関係団体から役員・選手を派遣し活性化を支援した。
 - ・スポーツ推進委員をニュースポーツの指導者として地域に派遣し地域コミュニティの醸成に貢献したことに加え、八王子の特性を活かしたスポーツイベントとして陣場・高尾をコースとする「TOKYO 八峰マ

- ウンテントレイル」やヒルクライム、トライアスロンを実施した。
- ・令和元年度の新たな取り組みとしては、総合型地域スポーツクラブ設立希望団体（2団体）に情報提供を行った。
 - ・地域のスポーツ指導者育成のため、小学生だけでなく大人を対象とした元プロ野球選手による野球教室を開催した。
 - ・今後の課題と方向性としては、総合型地域スポーツクラブについて各団体の実態に即した施策を行うほか、プロスポーツチーム等のアスリートやスポーツ推進委員等と連携し、指導者の派遣を行っていく。
- 梅澤会長
三浦委員
- ・基本施策4について、意見・質問等あるか。
 - ・障害者スポーツの指導員について、初級資格はかなりの人が取っているが、上級まで資格を取る人は少ない。
 - ・資格を活用できる大会等がないというのも上級の資格を目指す意欲につながらない一つの問題。
 - ・スポーツ指導員を活用する方法は考えているのか。
- 事務局
- ・初級障がい者スポーツ指導員の資格を、まずはスポーツ推進委員に取得してもらうため、今年度八王子独自の講習会を開催し、指導員を増やす取り組みをした。
 - ・今現在は指導員を増やす段階ではあるが、資格を取った方について登録制度つくるなど、次の段階として考えていく必要があると思っている。
 - ・障害者スポーツの推進については重点施策に位置付けていることも踏まえ、これを足掛かりに発展させていきたい。
- 佐藤委員
- ・障害者スポーツの指導員の活用については、東京都や障害者スポーツ協会でもかなり課題と感じている。
 - ・来年9月を目途に、東京2020大会のボランティアを含め一括登録をして、指導員がメールアドレスを登録すればその人が希望する内容や特性について、個人の端末に随時情報が流れるようなシステムの作成をしている。
- 澤本副会長
- ・今八王子では総合型スポーツクラブが19あるが、地域ごとに総合型地域スポーツクラブを作って地域の皆さんがたくさんスポーツ活動をするというのが理想である。
 - ・中学校の部活動が大変になってきている現状があるため、総合型スポーツクラブで受け入れをできないかという議論がある。
 - ・総合型スポーツクラブでどんな種目をやっていて、どのくらいのレベルの子どもを受け入れられるか知りたい。
- 梅澤会長
- ・欧米の一部の国は学校体育をやっておらず、総合型スポーツクラブなど

学校外でスポーツを学ぶ場を設けている。

- ・日本もそれを目指したが、定着できていない。
 - ・障害のある人もない人も、また幅広い年齢層の人たちのスポーツをする場という意味では、総合型地域スポーツクラブは大きな役割を果たす。
 - ・競争力を上げたい人たちは総合型スポーツクラブではなく、その競技に特化したクラブチームに所属するなど、住み分けが必要となるだろう。
- 事務局
- ・計画に掲載している総合型スポーツクラブの実態調査結果で、学校との連携について聞いている部分があり、学校と連携しクラブ活動に講師を派遣している総合型スポーツクラブなどがある。
- 長田委員
- ・総合型地域スポーツクラブの中には、学校と連携して放課後子ども教室やサタデースクールなどに講師を派遣して、子供たちにニュースポーツを教えている。
- 梅澤会長
- ・そういったクラブがあるということが分かれば、総合型スポーツクラブ活動が広がりやすくなる。

【基本施策5 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて】

- 事務局
- ・30年度の具体的な取り組み状況としては、東京2020オリンピック競技大会における自転車ロードレースのコースとして市内一部が決定したことや、スポーツライミングアメリカ代表の事前キャンプ地に決定したことが挙げられる。
 - ・市立小・中学校ではオリンピックによる交流事業や講演会を実施したほか、機運醸成イベントとして、パラアスリートによる車椅子バスケットボール体験会などを実施した。
 - ・改定後のスポーツ推進計画では、基本施策のタイトルを東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアクションとレガシーに変更するとともに、新しい施策の方向性として、オリンピック・パラリンピック教育の推進を掲げている。
 - ・令和元年度の新たな取り組みとしては、7月に東京2020大会自転車ロードレースのテストイベントを実施したほか、8月にスポーツライミングアメリカ代表チームが市内で強化合宿を行ったことが挙げられる。
 - ・今後の課題と方向性としては、子どもの競技継続のためのモチベーションアップにつなげていくため、引き続きジュニア育成事業を実施していく。
 - ・聖火リレーや自転車ロードレース大会等、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてさらに機運を高めるため、普及啓発

- 事業を実施することで開催支援を行う。
- ・初級障がい者スポーツ指導員養成講習会や元プロ野球選手による野球教室を開催することにより、指導者の資質向上の機会を設ける取り組みにもつなげていく。
- 梅澤会長
- ・基本施策5について、意見・質問等あるか。
- 三浦委員
- ・これまでに市内でパブリックビューイングをしたことはあるか。
- 事務局
- ・前回オリンピックや八王子高校が甲子園へ出場した際に市民センターや市内の商業施設等で行った。
- 三浦委員
- ・東京 2020 大会開催にあたって、なかなかチケットが取れないという話が出ている。若い人から高齢者まで一緒に試合を見て盛り上がるような場をぜひ提供してほしい。
- 事務局
- ・東京 2020 大会については、オリンピック・パラリンピック推進室で何か所かパブリックビューイングを行うため、準備を進めている。
- 梅澤会長
- ・計画に新しく加わった「オリンピック・パラリンピック教育の推進」について、委員から学校での実践状況について伺いたい。
- 齋藤委員
- ・学校によっては、オリンピックやパラリンピアンを講師として招いて講演等を行っている。また、外国の方とのふれあいということで、市内の留学生と交流の機会を設けている学校もある。
- 園山委員
- ・外国の方に日本の伝統文化を紹介する取り組みを行っている学校がある。
 - ・小学校 3・4 年生から外国語活動があるため、外国の方に案内が出来るよう学習活動で多く取り組んでいる。
 - ・パラリンピックスポーツの一つであるボッチャも授業で取り入れている。
 - ・「〇〇小オリンピック」という独自の取り組みをしている学校もある。
- 梅澤会長
- ・ほかに意見等がなければ、報告事項の2に入る。事務局から説明を。

2. 富士森陸上競技場のネーミングライツについて

- 事務局
- ・富士森公園陸上競技場は平成 30 年秋頃から工事を始め、令和 2 年 2 月末までの工期で進めている。
 - ・場内の工事はほぼ完了しており、現在トラックの線等を引いたり、周囲の植栽を整えている状況。
 - ・年明けに備品類の搬入をし、2 月に日本陸上競技連盟の検定を受け 4 種公認の取得をする予定となっている。
 - ・市内には第 2 種公認の上柚木と第 4 種公認の富士森という 2 つの競技場ができることになるため、富士森は地域レベルの大会や小中学生のジュニアの大会用、上柚木は高校生以上の大会用という住み分けを市として考えている。

- ・富士森陸上競技場の人工芝は陸上に特化したものではなく、サッカー等様々な活動で利用できる芝にしている。
 - ・ネーミングライツのスポンサーについては、令和元年 8 月 21 日から 10 月 18 日まで公募。
 - ・東京都サッカー協会様から手を挙げていただき、愛称を「東京フットボールセンター八王子富士森競技場」と決定した。
 - ・命名権料は年間 300 万円で 5 年間の使用期間となっている。
 - ・今後のスケジュールとしては 2 月末が工期となっており、3 月 15 日にオープニングイベントを実施予定としている。
 - ・午前中はセレモニーとしてテープカットと、市内中学生による陸上の器具類を使ったデモンストレーションを実施し、午後からはアスリートの方を講師に招いて小中学生を対象とした走り方教室を行う予定をしている。
- 梅澤会長
- ・命名権料が年間 300 万円で 5 年間ということで、大きなネーミングライツかと思う。本件について、質問や意見等はあるか。
- 澤本副会長
- ・富士森陸上競技場については、これまで地元の方が無料で使用していた経緯があり、リニューアルオープンに際して有料にするか無料にするかという議論があった。結果はどうなったのか。
- 事務局
- ・受益者負担の考え方から原則は有料としている。ただこれまで長い間無料で使われてきたという経緯があるため、早朝、夜間、水曜日に無料で使用できる時間帯を設ける。
- 澤本副会長
- ・上柚木陸上競技場とのバランスはどうするのか。
- 事務局
- ・上柚木はこれまでと同様に有料で変わりはない。無料で使用できたというのは富士森陸上競技場の独特の歴史であり、そこに折り合いをつけるため、今回のような対応をした。
- 梅澤会長
- 事務局
- ・早朝、夜間の時間帯は。
 - ・早朝は朝 6 時から 9 時、夜間は夜 9 時から 10 時を想定している。その間 3 時間刻みで団体への貸し出しを予定している。水曜日は 1 日無料で使用できるようにする。
 - ・料金については、これまで上柚木は個人で利用した場合、高校生以上の大人は 200 円、中学生以下は 100 円としていたが、高校生について新たな料金を設定し 200 円を 100 円に、中学生以下の金額も料金を 100 円から 50 円にする。これと同様に富士森陸上競技場も金額を設定した。
- 澤本副会長
- ・上柚木と富士森の使い方については不公平さを感じる。屋内運動施設はすべて有料であるにもかかわらず、富士森陸上競技場だけ無料の時間帯があるのはおかしい。
- 事務局
- ・そういったご意見があることは重々承知しているが、多方面と調整してこのような結果となった。
- 梅澤会長
- ・第 2 種公認と第 4 種公認の違いといったことや、料金の改定によるジュ

ニアへの配慮といった部分があるかと思うが、受益者負担の意識は今後も持ち続ける必要あると思う。

3、その他・事務連絡

梅澤会長 ・ 次回の審議会は3月を予定している。日程が決まり次第、事務局より通知する。

閉会

梅澤会長 ・ 以上で本審議会を閉会する。